

未承認新規医薬品等の情報公開用文書

実施内容	カテコールアミン製剤の併用
対象患者	医師がカテコールアミン製剤の併用を必要と判断した患者
承認日	令和8年7月29日
概要	重症低血圧、心原性ショックといった、血圧が著しく低下し生命の危機に瀕する状態では、循環動態を維持するために、カテコールアミン製剤（ノルアドレナリン、アドレナリン、ドパミン、ドブタミン、イソプレナリン）という薬を使用することがあります。 これらの薬剤は、血管を収縮させたり、心臓の収縮力を高めたりすることで、血圧を上昇させ、血液循環を改善する効果があります。 一部のカテコールアミン製剤の添付文書には、「他のカテコールアミン製剤投与中の患者」には投与しないことと記載されていますが、国内外のガイドラインでは循環動態を維持するために併用することも選択肢とされています。 これは、重症低血圧や心原性ショックの患者さんにとって、循環動態を維持するために、複数のカテコールアミン製剤を併用することが有効な場合があるためです。 当院においても医師が患者さんの状態から必要と判断した場合は、カテコールアミン製剤を併用することがあります。
予想される不利益と対策	カテコールアミン製剤を併用することで心臓への作用が増強する可能性があり、血圧上昇、頻脈、不整脈の誘発、組織血流の低下などの副作用を生じる可能性があります。血圧や脈拍数、尿量などの循環動態を厳重に観察し、必要時は薬剤の減量や中止等で対応します。
当院臨床倫理検討委員会において承認を受けた上記の治療について、対象者となられる方へ文書または口頭で説明し同意を頂くことに代えて、病院ホームページにて情報を公開することにより投薬を実施しております。本件について同意できない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。また、適応外使用の場合、国の医薬品副作用被害救済制度の給付対象外となる可能性があることをご承知おきください。 なお、同意できないとご連絡をいただいた場合においても、添付文書の定める範囲内での使用では安全に医療を提供できないと主治医が判断した場合、再度ご説明させていただく場合があります。	

お問合せ先

〒982-8502 宮城県仙台市太白区あすと長町1-1-1

仙台市立病院 医療安全管理課 安全管理室

電話番号：022-308-7111（代表） FAX:022-308-7153

または、主治医に直接お申し出ください。